

4月4日：VN指数は下げ止まるも依然として軟調 (VN-Index - 1.56%)

- 昨日に引き続き米国による相互関税により、VN指数は大幅に5%強下落して取引を開始した。
- とはいえ、取引開始直後に記録された1,150pt付近で下げ止まり反発。ただ、前場の終わりにかけては再び下げ幅が拡大するなど、市場センチメントは依然として不安定だった。
- 一方、後場には大型株を中心とした買い戻しの動きが見られ、指数は上向きの動きが続いた。結果的に終値ベースでは1,200pt水準の死守に成功した。
- セクター別では銀行、旅行・レジャー、不動産などの下げ幅が比較的に小さかった。
- 138銘柄が上昇、354銘柄が下落、42銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は6.5%増の42.2兆ドンとなった。

VN30指数は下げ幅が昨日よりも大きく縮小 (VN-30 -0.21%)

- 大型株で構成されるVN30指数は9銘柄が上昇、20銘柄が下落、1銘柄が変わらずとなった。
- LPB (+6.98%)、VIC (+3.74%)、VNM (+3.54%)などを中心に買い戻しが行われた。
- 一方、BCM (-6.96%)、BVH (-6.91%)、GVR (-6.90%)は引き続き大きく売られた。

セクター・個別株の動き

- PVD (-6.80%)は2025年度株主総会資料を発表。2025年は総売上高7兆2,000億ドン（前年比25%減）、税引後利益5,300億ドン（同24%減）が目標として設定された。

- BMP (+1.50%) は 2025 年度株主総会資料を発表。2025 年は売上高 5 兆 3,620 億ドン（前年比 15%増）、税引後利益 1 兆 550 億ドン（同 6%増）が目標として設定された。
- 外国人投資家は 2 兆 8,240 億ドンを売り越したが、そのほとんどが優良株に集中した。一方、買い越し額は軽微であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。